

放牧にも採草にも使える！ フェストロリウム新品種

ノースフェスト

「ノースフェスト」は越冬性に優れるメドウフェスクと飼料品質に優れるペレニアルライグラスの2種類の牧草を交配し、両牧草の特徴を合わせ持つフェストロリウムと呼ばれる牧草の新品種です。

農研機構、雪印種苗株式会社、北海道立総合研究機構が共同で育成した道産品種で、2017年に北海道優良品種に認定されています。北海道全域を対象に、放牧にも採草にも利用できます。



「北海1号」は「ノースフェスト」の旧系統名

	ノースフェスト	ペレニアル ライグラス	メドウフェスク
越冬性	○～△	△～×	○
収量	◎～○	○～△	○
品質	○	○	△
初期生育	◎	○	○

放牧にも採草にも使える！ フェストロリウム新品種

ノースフェスト

■ ノースフェストとペレニアルライグラス、メドウフェスクの特性比較

草種	品種	越冬性		多回刈り 乾物収量 kg/10a (ハルサカエ比 %)	高消化性 繊維割合 Oa/OCW %
		根釦地域 以外	根釦地域		
フェストロリウム	ノースフェスト	6.0	3.1	1030 (106)	40.9
ペレニアルライグラス	ポコロ	4.5	1.6	903 (91)	39.9
メドウフェスク	ハルサカエ	5.0	5.5	973 (100)	36.2

北海道優良品種の成績概要書より抜粋。越冬性は1:極不良～9:極良、根釦地域は2箇所、根釦地域以外は道内5箇所の試験地平均、多回刈り乾物収量は放牧を想定した年間5～11回刈取りの合計収量、高消化性繊維割合は品質の目安

追播 利用

「ノースフェスト」は初期生育が良く、ペレニアルライグラスに比べて越冬リスクを低減することができ、メドウフェスクに比べて飼料品質が良好であることから、植生が悪化した既存草地に追播利用することで収量と飼料品質の向上が図られます。(経営体強化プロジェクト「気象リスク飼料生産」技術紹介パンフレットより抜粋)



既存採草地への追播作業(7月)



追播から1ヵ月後の定着状況



3年目秋の追播草地



3年目秋の追播なしの草地

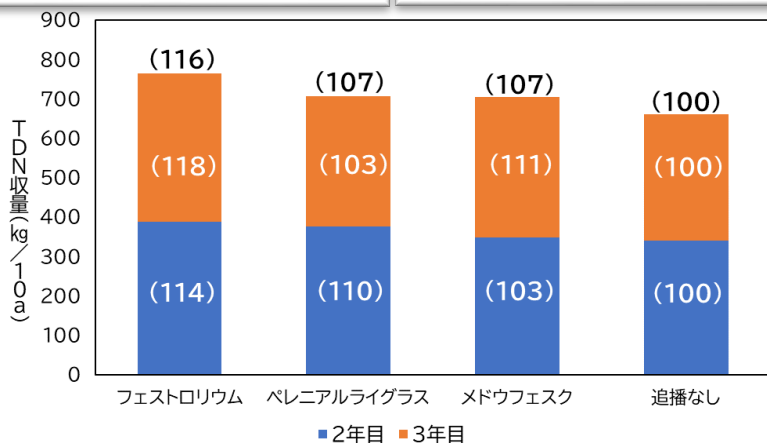


図 追播の栄養収量(TDN収量)に及ぼす効果
()内の 数値は追播なしを100とした比較
フェストロリウム「ノースフェスト」の追播により2か年合計のTDN収量は、追播なしとの比較で16%、収量が増加しました。

栽培・利用上の注意点

- 北海道の大部分の地域では越冬に問題はありませんが、根釦地域の一部のような過去に著しい凍害が発生した地域での栽培は避けてください。
- 翌春の生育に影響を及ぼす可能性がある10月中旬～下旬の利用は避けてください。
- 補助草種として混播し採草利用する場合、1番草は主体草種の生育に合わせて刈取り適期である出穂期までに収穫してください。

ノースフェスト 北海道農業試験会議 普及推進

ノースフェスト 経営体強化プロジェクト 追播

問い合わせ先

北海道農業研究センター

農研機構

北海道農業研究センター研究推進部研究推進室広報チーム
TEL 011-857-9260



E-mail



URL